

## 述而第七

子曰、不憤不啓。不悱不発。  
 挙一隅、不以三隅反、則不復也。

子曰わく、ふん憤せざれば啓けいせず。悱ひせざれば発はつせず。  
いちくう一隅をあ挙ぐるに、さんくう三隅を以てもつ反さざれば、かえ則ちすなわ復たふたびせざるなり

(7-158)

<子曰わく、憤せざれば啓せず>

Q:「子曰わく、憤せざれば啓せず」とは何ですか。

A: (1)「孔子が言った。私は、学問に対して、ふるい立つほどの情熱をもたない者には、教え導くことはしない」の意。  
 (2)「教えを受けんとする者で、自らの心に求め、疑問の解決に向かって情熱がもりあがるようにならなければ、これをひらき教えてやろうとはしない」の意。

<悱せざれば発せず>

Q:「悱せざれば発せず」とは何ですか。

A: (1)「また、わかっていながら、それを口に出せないで、もどかしく思うほど積極性を示さない者にも、教えることはしない」の意。  
 (2)「言うべき内容もできて、言いたくてもうまく言えなくて、口をモグモグさせる程度まで進まない、ひらき導いてやらない」の意。

<一隅を挙ぐるに、三隅を以て反さざれば、則ち復たびせざるなり>

Q:「一隅を挙ぐるに、三隅を以て反さざれば、則ち復たびせざるなり」とは何ですか。

A: (1)「さらに、例えて言えば、四角の一隅について教えてやった場合、それを基にして、それを更に自分なりに押しひろめた他の三つの隅についてまで、自分から進んで返答して来ないようでは、重ねて教えることはしないだろう」の意。  
 (2)「たとえば、四角なものを教えるにしても、一隅を持ち上げてみせると、他の三つの隅を自分から類推して反応を示すようであれば、重ねて教えることはしない。(相手がまだ理解するだけの成熟さに達していないから、静かに相手の積極的な成熟を待つより外にないのだ)」の意。  
 (3)有名な啓発教育という語の出典。教育や学問というものは、自ら志し、それに対して、ほとばしるほどの情熱を持たなくてはならない。教育や学問というものは、畢竟ひつきよう無きものを与えるのではなくて、潜在のものを導き出して、在るものに眼を開かすことである。孔子はこの教育理論をはっきりつかみ、自らも発憤し、弟子たちも発憤せしめたのである。憤を発し、悱を発しなければ教えない。四角の一を聞いて、すぐ他の三を以て反応するほどの熱意と類推力のない者には二度と教えないよとつっぱねながら、孔子は、弟子の反応を期待をこめて見守った。

2011年6月20日林明夫記